



平成27年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年2月6日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 帝国電機製作所

コード番号 6333 URL <http://www.teikokudenki.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 宮地 國雄

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役総務本部長 (氏名) 中村 嘉治

TEL 0791-75-4160

四半期報告書提出予定日 平成27年2月9日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第3四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第3四半期	15,559	13.6	1,834	50.3	2,391	28.8	1,582	32.4
26年3月期第3四半期	13,696	1.8	1,220	△16.4	1,856	8.3	1,195	4.5

(注) 包括利益 27年3月期第3四半期 1,772百万円 (△7.6%) 26年3月期第3四半期 1,918百万円 (68.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第3四半期	80.05	—
26年3月期第3四半期	65.71	—

※当社は、平成26年10月1日付で、普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。これに伴い、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年3月期第3四半期	29,963	22,368	74.7	1,097.17
26年3月期	25,327	17,848	70.5	981.35

(参考) 自己資本 27年3月期第3四半期 22,368百万円 26年3月期 17,848百万円

※当社は、平成26年10月1日付で、普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。これに伴い、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり純資産を算定しております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	12.00	—	12.00	24.00
27年3月期	—	12.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	6.00	18.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

※当社は、平成26年10月1日付で、普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。平成27年3月期(予想)の期末の1株当たり配当金については、株式分割を考慮した金額を記載しております。なお、当該株式分割を考慮しない場合の平成27年3月期(予想)の期末の1株当たり配当金は、12円となります。

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	20,359	2.9	2,082	28.6	2,212	1.8	1,478	5.9	74.20

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※当社は、平成26年10月1日付で、普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。平成27年3月期の連結業績予想における1株当たり当期純利益については、株式分割を考慮した金額を記載しております。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 有
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年3月期3Q	20,400,138 株	26年3月期	18,900,138 株
② 期末自己株式数	27年3月期3Q	12,750 株	26年3月期	712,644 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年3月期3Q	19,769,208 株	26年3月期3Q	18,187,565 株

※平成26年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。これに伴い、上記の株式数につきましては、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して算定しております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続を実施しています。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページの「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
(4) 追加情報	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9
4. 補足情報	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、米国においては雇用情勢の改善や企業収益の拡大により順調な景気回復が継続しましたが、欧州においては持ち直しの動きが継続しているものの、政府債務問題や地政学的リスク等の影響が懸念され、更に新興国においては経済成長の伸びが鈍化する等、全体として力強さに欠ける状況が続いています。

わが国経済においては、政府による経済・金融政策を背景に、企業収益や雇用・所得環境に改善がみられる等緩やかな回復基調が続いているものの、消費税率引上げ後の個人消費の低迷の長期化や急激な円安に伴う原材料価格の上昇等の影響により、依然として先行き不透明な状況で推移しました。

このような状況の中、当社グループの当第3四半期連結累計期間の売上高は、主力のポンプ事業については、国内における設備投資は依然として厳しいものの、海外市場については、北米・中国等を中心として堅調に推移しました。一方、電子部品事業においては、受託先企業からの仕事量の一部が海外移転したことによる影響があったものの、新たに移管された仕事量の増加により、堅調に推移しました。

これらの結果、グループ全体として売上高は155億59百万円（前年同期比13.6%増）となりました。

利益面につきましては、売上の増加や利益率の高い案件比率の向上及び原価低減等による粗利率の改善等により、営業利益は18億34百万円（同50.3%増）、為替差益4億97百万円の発生等により経常利益は23億91百万円（同28.8%増）、四半期純利益は15億82百万円（同32.4%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

① ポンプ事業

ポンプ事業は、ケミカル用モータポンプ、ケミカル以外用モータポンプともに主に海外向けで販売が増加しました。内訳は、ケミカル用モータポンプにおいては、主力のケミカル機器モータポンプ、冷凍機・空調機器モータポンプともに主に海外向けで増加しました。また、ケミカル以外用モータポンプにおいては、電力関連機器モータポンプが主に海外向けで増加し、定量注入機器ポンプが国内外で増加しました。

その結果、売上高は131億16百万円（前年同期比13.9%増）、連結売上高に占める割合は84.3%となりました。また、営業利益は、売上の増加や利益率の高い案件比率の向上及び原価低減等による粗利率の改善等により17億2百万円（同50.3%増）となりました。

② 電子部品事業

電子部品事業は、受託先企業からの仕事量の一部が海外移転したことによる影響があったものの、新たに移管された仕事量の増加により、売上高は20億40百万円（前年同期比11.3%増）、連結売上高に占める割合は13.1%となりました。

また、営業利益は、売上の増加等により、74百万円（同33.1%増）となりました。

③ その他

その他は、昇降機等の特殊機器の売上が増加したことから、売上高は4億2百万円（前年同期比17.6%増）、連結売上高に占める割合は2.6%となりました。

また、営業利益は、売上の増加及び原価低減等による粗利率の改善に努めた結果、56百万円（同78.9%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は214億41百万円となり、前連結会計年度末に比べ44億69百万円増加いたしました。これは主に公募及び第三者割当による新株式の発行、公募による自己株式の処分により、現金及び預金が21億50百万円増加したことによるものであります。固定資産は85億21百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億65百万円増加いたしました。これは主に投資その他の資産が1億66百万円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は、299億63百万円となり、前連結会計年度末に比べ46億35百万円増加いたしました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は59億24百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億22百万円増加いたしました。これは主に支払手形及び買掛金が1億34百万円増加したことによるものであります。固定負債は16億70百万円となり、前連結会計年度末に比べ7百万円減少いたしました。

この結果、負債合計は、75億94百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億15百万円増加いたしました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は223億68百万円となり、前連結会計年度末に比べ45億20百万円増加いたしました。これは主に公募及び第三者割当による新株式の発行、公募による自己株式の処分により、資本金が10億1百万円、資本剰余金が14億1百万円増加したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は74.7%（前連結会計年度末は70.5%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年11月7日に公表いたしました「平成27年3月期第2四半期連結累計期間の業績予想値と実績値との差異及び平成27年3月期通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」から変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(退職給付に関する会計基準等の適用)

「退職給付に関する会計基準」（企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。）及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。）を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更、割引率の決定方法を従業員の平均残存勤務期間に近似した年数に基づく割引率から、退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更しております。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第3四半期連結累計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に削減しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の期首の退職給付に係る負債が64,800千円減少し、利益剰余金が41,731千円増加しております。なお、損益に与える影響は軽微であります。

会計上の見積りの変更

(耐用年数の変更)

当社は、平成26年5月30日開催の取締役会において、新工場の建設を決議いたしました。これにより、利用不能となる有形固定資産について耐用年数を短縮し、将来にわたり変更しております。

この変更により、従来の方法に比べて、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ46,884千円減少しております。

(4) 追加情報

(役員退職慰労金)

当社の役員退職慰労引当金については、従来、役員の退職慰労金の支出に備えるため、内規に基づく期末要支給額を計上しておりましたが、平成26年6月27日開催の定時株主総会終結の時をもって役員退職慰労金制度を廃止しております。

同制度廃止に伴い、在任期間に応じた役員退職慰労金の打ち切り支給を同株主総会で決議し、役員退職慰労引当金残高80,263千円を、固定負債の「その他」に計上しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,277,869	8,428,591
受取手形及び売掛金	6,483,812	6,741,606
有価証券	—	1,600,000
製品	916,530	1,106,644
仕掛品	2,030,712	2,071,458
原材料及び貯蔵品	898,528	1,001,958
その他	703,658	820,871
貸倒引当金	△339,556	△330,060
流動資産合計	16,971,555	21,441,069
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,773,509	2,666,949
その他（純額）	3,392,727	3,539,322
有形固定資産合計	6,166,236	6,206,272
無形固定資産	465,671	425,215
投資その他の資産	1,724,350	1,890,458
固定資産合計	8,356,258	8,521,946
資産合計	25,327,813	29,963,016
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,154,335	2,288,482
短期借入金	670,608	642,935
未払法人税等	420,496	444,551
製品保証引当金	34,708	24,924
賞与引当金	463,337	240,454
役員賞与引当金	19,200	—
その他	2,039,152	2,283,218
流動負債合計	5,801,838	5,924,566
固定負債		
役員退職慰労引当金	76,677	—
退職給付に係る負債	974,588	914,985
その他	626,466	755,123
固定負債合計	1,677,731	1,670,109
負債合計	7,479,569	7,594,676

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,116,823	3,118,118
資本剰余金	1,904,614	3,306,347
利益剰余金	13,462,452	14,855,335
自己株式	△543,653	△9,726
株主資本合計	16,940,237	21,270,075
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	389,456	564,306
為替換算調整勘定	615,475	621,986
退職給付に係る調整累計額	△96,925	△88,027
その他の包括利益累計額合計	908,007	1,098,264
純資産合計	17,848,244	22,368,340
負債純資産合計	25,327,813	29,963,016

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
売上高	13,696,549	15,559,869
売上原価	8,657,684	9,409,892
売上総利益	5,038,865	6,149,976
販売費及び一般管理費	3,818,292	4,315,877
営業利益	1,220,573	1,834,099
営業外収益		
受取利息	7,420	11,565
受取配当金	21,785	27,025
受取賃貸料	14,488	19,514
為替差益	555,188	497,980
その他	66,699	51,826
営業外収益合計	665,582	607,912
営業外費用		
支払利息	24,348	27,832
株式交付費	—	17,303
その他	5,329	4,970
営業外費用合計	29,677	50,106
経常利益	1,856,478	2,391,905
特別利益		
固定資産売却益	30,531	—
特別利益合計	30,531	—
税金等調整前四半期純利益	1,887,009	2,391,905
法人税等	691,868	809,305
少数株主損益調整前四半期純利益	1,195,141	1,582,600
四半期純利益	1,195,141	1,582,600

（四半期連結包括利益計算書）
（第3四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第3四半期連結累計期間 （自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日）	当第3四半期連結累計期間 （自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日）
少数株主損益調整前四半期純利益	1,195,141	1,582,600
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	320,921	174,849
為替換算調整勘定	402,482	6,510
退職給付に係る調整額	—	8,897
その他の包括利益合計	723,403	190,257
四半期包括利益	1,918,545	1,772,858
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,918,545	1,772,858
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成26年6月16日付にて、公募による新株式の発行及び公募による自己株式の処分を行い、平成26年6月26日付にて、第三者割当による新株式発行を行いました。この結果、当第3四半期連結累計期間において、資本金が1,001,295千円増加、資本剰余金が1,401,733千円増加、自己株式が534,103千円減少し、当第3四半期連結会計期間末において資本金が3,118,118千円、資本剰余金が3,306,347千円、自己株式が9,726千円となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間（自平成25年4月1日 至平成25年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	ポンプ事業	電子部品事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	11,520,133	1,833,830	13,353,964	342,585	13,696,549
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	11,520,133	1,833,830	13,353,964	342,585	13,696,549
セグメント利益	1,132,850	56,317	1,189,168	31,404	1,220,573

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、特殊機器、健康食品及び人材派遣事業を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,189,168
「その他」の区分の利益	31,404
四半期連結損益計算書の営業利益	1,220,573

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間（自平成26年4月1日 至平成26年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	ポンプ事業	電子部品事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	13,116,481	2,040,436	15,156,918	402,951	15,559,869
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	13,116,481	2,040,436	15,156,918	402,951	15,559,869
セグメント利益	1,702,988	74,942	1,777,931	56,168	1,834,099

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、特殊機器、健康食品及び人材派遣事業を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,777,931
「その他」の区分の利益	56,168
四半期連結損益計算書の営業利益	1,834,099

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

4. 補足情報

生産、受注及び販売の状況

① 生産実績

当第3四半期連結累計期間の生産実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第3四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)	前年同期比 (%)
ポンプ事業 (千円)	13,593,154	16.6
電子部品事業 (千円)	2,040,416	11.3
報告セグメント計 (千円)	15,633,571	15.9
その他 (千円)	478,398	8.5
合計 (千円)	16,111,969	15.7

(注) 1. 金額は、販売価格によっております。
2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

② 受注状況

当第3四半期連結累計期間の受注状況をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	受注高 (千円)	前年同期比 (%)	受注残高 (千円)	前年同期比 (%)
ポンプ事業	13,608,806	4.7	6,384,101	3.4
電子部品事業	2,050,936	11.1	225,758	9.1
報告セグメント計	15,659,742	5.5	6,609,859	3.6
その他	423,798	30.4	173,210	41.4
合計	16,083,541	6.0	6,783,069	4.3

(注) 1. 金額は、販売価格によっております。
2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

③ 販売実績

当第3四半期連結累計期間の販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第3四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)	前年同期比 (%)
ポンプ事業 (千円)	13,116,481	13.9
電子部品事業 (千円)	2,040,436	11.3
報告セグメント計 (千円)	15,156,918	13.5
その他 (千円)	402,951	17.6
合計 (千円)	15,559,869	13.6

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。